



探訪 長門のい（おみ） ⑤6



訂心寺の宝篋印塔

尼子元知は、出雲（島根県東部）の名門

信心施主

大 禅
冷 樹 芳
定 門

皆元和八戌年七月二日

塔の基礎には、つぎのように刻まれている。
（拓本参照、 は判読不明部分）

訂心寺の宝篋印塔 — 尼子元知の墓碑 —

宝篋印塔は本来、経文（宝篋印陀羅尼経）を納める塔であるが、のちには供養塔・墓碑として建てられるようになった。

洪水・訂心寺の裏山にあるこの宝篋印塔は、元和8年（1622）江戸初期）に建てられたもので、尼子元知の墓と伝えられる。

尼子義久の養子

（実父は義久の弟 倫久）で、刻銘の

「冷巖樹芳大禅定門」はその法号。

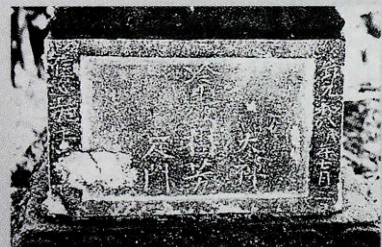
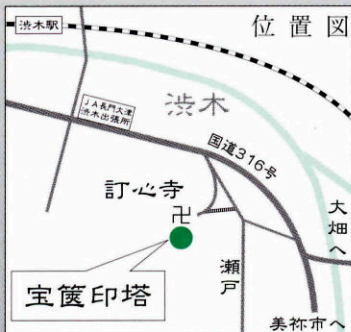
永禄9年（1566）、尼子氏は毛利氏の軍門に降った。義久ら尼子三兄弟は毛利氏に

帰順し、知行地として石見国（島根県西部）那賀郡久佐の地を与えられた。しかし、義久は間もなく出家。跡を継いだ元知は、初代萩藩主毛利秀就に仕えたが、元和8年（1622）5月、25歳で没した。

訂心寺は深川湯本太寧寺の末寺で、元来、周布氏の菩提寺である。元知がここに葬られた経緯は定かではないが、益田氏の支族である周布氏が石州（石見国）に

居た関係から、あるいはその縁故によるものかも知れない。（正）

（寄稿・長門市郷土文化研究会）



宝篋印塔基礎背面の拓本

こちら 119

緊急車両が近づいたら!?

消防車や救急車等の緊急車両が近づいた場合、特に次のことに注意し、緊急車両の妨げとならないようにしましょう。

- 緊急車両が接近してきたときは、車両は道路の左側に寄って進路を譲ってください。
- 交差点またはその付近において緊急車両が接近してきたときは交差点を避け、道路の左側に寄り一時停止し進路を譲ってください。



長門地区消防本部・中央消防署 22-0119
火災時の問い合わせ 22-1414
ホームページアドレス
<http://member.hot-cha.tv/~htb20504/>